

ヒアリングについて

1. ヒアリング対象者

公共用水域の下層D0又は透明度が高くなること又は低くなることにより直接影響を受けると思われる代表分野の方3名。

- (1) 千葉県環境生活部 矢沢 裕 様
- (2) 兵庫県漁業協同組合連合会 山田 隆義 様
- (3) 公益社団法人日本トリアスロン連合 中山 正夫 様

2. ヒアリング時間

- (1) 千葉県環境生活部 (説明15分・質疑15分)
- (2) 兵庫県漁業協同組合連合会 (説明15分・質疑15分)
- (3) 公益社団法人日本トリアスロン連合 (説明15分・質疑15分)

3. ヒアリング内容

- (1) 下層D0又は透明度と貴団体の関わりについて
下層D0又は透明度が大きくなる又は小さくなることにより、貴団体が受ける影響。
- (2) 下層D0又は透明度に係る望ましい基準の考え方
 - 1) 下層D0又は透明度についてどのような環境基準が望ましいか。
 - 2) 下層D0又は透明度の環境基準の設定により、どのような効果を期待するか。
 - 3) 下層D0又は透明度の環境基準の設定に関し、どのようなことが懸念されるか、または、留意すべきか。